

# 安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読み下さい

注意事項は製品を安全かつ正しくご使用して頂く為のものです。  
あなたや他の方への危害を未然に防止する為にも必ずお守り下さい。

## ⚠️注意

⚠️：注意事項    ⓧ：禁止行為

- ⚠️ ぶついたり、落下や転倒によって変形する恐れがあります。外観を損なうだけでなく、抜差管やマウスピースが抜けなくなるにつながります。取扱いには十分ご注意ください。
- ⚠️ 楽器を火気に近づけないで下さい。変形につながり演奏に支障を及ぼす恐れがございます。
- ⓧ 部品が抜け飛ぶなどして危険ですので楽器を投げたり、振り回したりしないで下さい。
- ⓧ お手入れ用品は、メッキの種類に合った専用のものをお使い下さい。ベンジンやシンナーは使用しないで下さい。また、ポリッシュは表面を磨き取るものですのでメッキが薄くなる場合があります。あらかじめご了承下さい。
- ⓧ 調整、修理が出来なくなる恐れがありますので、改造はおやめ下さい。保証の対象外となります。

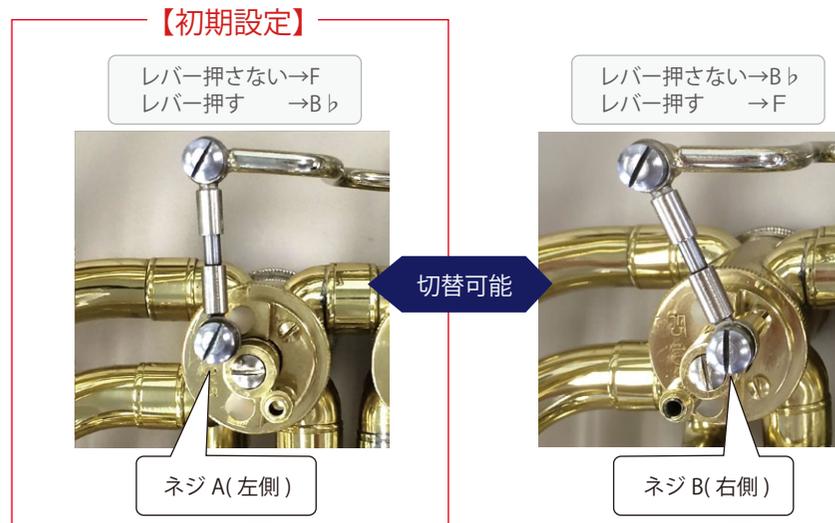
## ■各部の名称



# 演奏の準備

## ■F/B♭ロータリー切替システム

初期状態のロータリーレバーによる切替は、F/B♭(オープンF)となっておりますが、B♭/F(オープンB♭)に切替することができます。  
第4ロータリーのバルブには、A・B二箇所のネジ穴があります。ネジの接続位置によって以下のような設定となります。



※オープンFとオープンB♭では、運指が異なります。

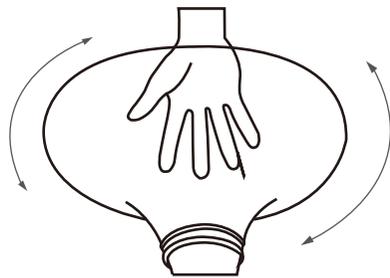
左側Aに接続されているネジを外し右側Bへ接続し直せば、B♭/Fへの変更は完了です。



## 演奏の準備

### ■ベルの取り付け

ベルの縁を持たずに手の中に入れます。中央部分を持ち、ネジ山が噛み合っていることを確認し、落下させないように取り付けてください。締め過ぎると外れなくなる恐れもありますのでご注意ください。

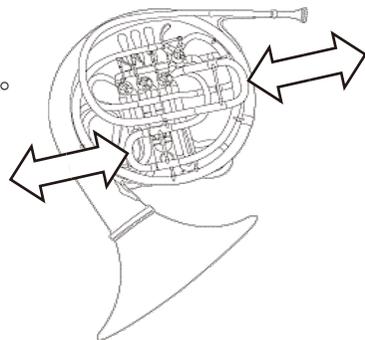


### ■マウスピースの装着

強くはめ込みすぎると抜けなくなる場合がありますのでご注意ください。

### ■チューニング

主管拔差管（チューニング管）で調整します。管を抜く（長くする）ほど全体の音程（ピッチ）は下がり、入れる（短くする）ほど高くなります。また気温にも影響されます。



※音程はアンブシエア（唇周辺の形）や圧力、息のスピードによって変化します。それぞれ吹き具合を一定に保ちながら、拔差管での微調整を行いましょう。

## 不具合について

### ■音程が悪い

- ・同じ吹き方でも、右手の形やベル内への入れ方等で音程が変化します。音域によっても、手の使い方の感覚は様々です。

### ■ロータリーの動作が鈍くなった

- ・可動部分に汚れ等が付着している可能性があります。
  - ・落下や衝撃等で変形した。
- ※いずれも修理が必要となりますので販売店へご相談ください。

### ■拔差管が抜けにくい。抜きづらい。

- ・管に汚れ等が付着している可能性があります。汚れを拭き取り、グリスを塗ってください。
- ・落下や衝撃等で変形した場合は修理が必要となりますので販売店へご相談ください。

### ■音がおかしい

- ・マウスピースがきちんと装着できていない。少し強めに入れてください。
- ・管内に異物が入っている。手の届く範囲であれば除去してください。
- ・溶接が外れている場合は修理が必要となりますので販売店へご相談ください。

### ■マウスピースが抜けにくい

- ・本体に装着したまま長期間放置したり、強く入れすぎ、錆によってマウスピースが抜けなくなる場合があります。また装着している時に落下させたり、マウスピースの口を手で叩き音を鳴らす様な行為をした場合にも抜けなくなってしまうことがあります。
- ※いずれの場合も無理に引き抜こうとせず、販売店へご相談ください。

故障かな？と感じたら販売店へご相談ください。